

第6学年 外国語科 学習構想案

日 時 令和3年10月20日(水) 第2校時
 場 所 6年1組教室
 指導者 T1 渡邊 俊介 T2 塩山 明

1 単元構想

単元名	Unit5 He is famous. She is great. (MITSUMURA TOSHO 『Here We Go! 6』 p.60-69)		
単元の目標	(1)主語+動詞+目的語の英語の文の語順に気付き、その文構造を用いて自分や第三者について伝えることができる。[知識・技能] (2)語順を意識して、自分や第三者について伝え合うことができる。[思考・判断・表現] (3)他者に配慮しながら、自分や第三者について簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとする。[学びに向かう力・人間性]		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	【聞くこと】(1)エ(イ)(3)ア(ウ) 主語+動詞+目的語の英語の文の語順を理解し、好きな物やほしい物、職業や性格などを聞き取る技能を身に付けている。	【聞くこと】(2)ア(3)ア(ウ) 世界で活躍する日本人について知るために、職業や性格、どんな活躍をしているかなどを聞き取って理解している。	【聞くこと】(3)ア(ウ) 世界で活躍する日本人について知るために、それぞれの人の話から職業や性格、どんな活躍をしているかについて聞き取り、理解しようとしている。
	【話すこと(発表)】 (1)エ(イ)(3)エ(イ) 語順を意識し、自分の事について、I like/want/have/play～.を用いて好きな物やほしい物などを伝えたり、第三者について He/She is ～.の文を用いて職業や性格などを伝えたりする技能を身に付けている。	【話すこと(発表)】 (2)ア(3)エ(イ) 自分の事について、主語+動詞+目的語の文構造を用いて好きな物やほしい物などを、また、He/She is ～.の文を用いて職業や性格などを伝えている。	【話すこと(発表)】(3)エ(イ) 人物当てクイズで人物を当ててもらうために、世界で活躍する日本人について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、職業や性格、何をしているかなどを紹介しようとしている。
【書くこと】(1)エ(イ)(3)オ(エ) 語順を意識し、自分の事について、I like/want/have/play～.を用いて好きな物やほしい物などを書いたり、He/She is ～.の文を用いて第三者の職業を書いたりする技能を身に付けている。	【読むこと】(2)イ(3)イ(エ) 世界で活躍する日本人について知るために、職業や性格などについて、簡単な語句やHe/She is ～.などの基本的な表現で書かれた文を読んでいる。		
単元終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
英語の文構造を意識し、自分の事や第三者について、好きな物やほしい物、職業や性格などを必要な語句や基本的な表現を使って伝え合っている児童。			
単元を通じた学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
職業や性格などを伝えて、世界で活躍する日本人について紹介し、人物当てクイズ大会をしよう!		自分の好きな物やほしい物、紹介したい第三者の職業や性格などを踏まえて伝える内容や表現を工夫すること。	
指導計画と評価計画(6時間取扱い 本時4/6)			
過程	時間	学習活動(「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一 Hop	1	○アニメーション映像を通じて、単元の見通しをもつとともに、様々な職業の言い方を知る。	★【態】(行動観察, 振り返りシート) アニメーション映像の内容を理解し、本単元のゴールである人物当てクイズ大会への関心を高めている。
二 Step1	2	○好きな物やほしい物などを伝える言い方を知る。 ○好きな物やほしい物などを伝え合う。	★【知】(行動観察, 振り返りシート) 主語+述語+目的語の英語の語順について日本語との違いに気付き、好きな物やほしい物を伝えている。 ★【思】(行動観察, 振り返りシート) 自分の事について、主語+述語+目的語の文構造を用いて好きな物やほしい物を伝えている。
三 Step2	2	○人の職業を伝える言い方を知り、職業を伝える表現に慣れ親しむ。(本時) ○人の性格などを紹介する言い方を知り、人物当てクイズ大会の準備をする。	★【思】(行動観察, 振り返りシート) 第三者について He is ～, She is ～の表現を用いて、職業を伝えている。 ★【知】(行動観察, 振り返りシート) 第三者について He is ～, She is ～の表現を用いて職業や性格等をシートに書いている。

四 Jump	1	○職業や性格などを伝えて、世界で活躍する日本人について紹介し、人物当てクイズ大会をする。	★【態】（行動観察、振り返りシート） 人物当てクイズで、世界で活躍する日本人について職業や性格等を伝え、紹介しようとしている。
-----------	---	--	--

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)	
<p>小学校学習指導要領 2 内容</p> <p>〔知識及び技能〕</p> <p>(1) 英語の特徴やきまりに関する事項</p> <p>エ 文及び文構造 (イ) 文構造 日本語と英語の語順の違い等に気付かせるとともに、基本的な表現として、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れる事を通して活用すること。</p> <p>〔思考力, 判断力, 表現力等〕</p> <p>(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項</p> <p>ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。</p> <p>イ 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりすること。</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>ア 聞くこと</p> <p>(ウ) 友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。</p> <p>イ 読むこと</p> <p>(イ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動。</p> <p>エ 話すこと(発表)</p> <p>(イ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。</p> <p>オ 書くこと</p> <p>(イ) 相手に伝えるなどの目的をもって、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。</p>	<p style="text-align: center;">教材・題材の価値</p> <p>本単元の前半では、自分の好きな物やほしい物などについて、 I like/want/have/play～.を用いて伝え合うことが、中心となる活動である。この活動を通して、主語＋動詞＋目的語という英語の文構造について、日本語との違いに気づき、基本的な表現として繰り返し聞いたり話したりすることで実感を伴って理解することができる。本単元の後半は、外国で活躍する日本人について、職業や性格などを伝えて紹介することが、中心となる活動である。He is～.She is～.などの基本的な表現に慣れ親しみ、自分が伝えたい人物についてクイズ形式で紹介することで、相手の理解を確かめながら話す、相手が話した事に反応を返ししながら聞くという他者に配慮したコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。</p>
本単元における系統	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>3年 Unit4 I like blue. 自分の好みを伝える。 3年 Unit5 What do you like? 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>4年 Unit3 I like Monday. 自分の好きな曜日を伝え合う。 4年 Unit5 Do you have a pen? 文房具などの持ち物について尋ねたり答えたりして伝え合う。 4年 Unit7 What do you want? ほしい食材などをたずねたり答えたりして伝え合う。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>5年 Unit1 Hello.everyone. 名前や好きな物を言って、自己紹介をすることができる。 5年 Unit2 When is your birthday? 誕生日や誕生日にほしいプレゼントをたずね合うことができる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>5年 Unit9 My hero is my brother. 職業や性格などを言って、身近なあこがれの人を紹介することができる。</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>6年 Unit5 He is famous. She is great. 職業や性格などを言って、世界で活躍する人を紹介することができる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>6年 Unit8 What do you want to be? なりたい職業とその理由を言って、将来の夢を発表することができる。</p> </div>

児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）

■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況（13人）

I like～. I want ～.を使って自分の事を伝えられるか				できる	だいたいできる	あまりできない	できない
自分の好きな物を英語で伝えることができる。				人	人	人	人
自分のほしい物を英語で伝えることができる。				人	人	人	人
5つの Good communication ができているか				いつもできている	だいたいできている	あまりできていない	全くできていない
①Smile ができている。				人	人	人	人
②Eye Contact ができている。				人	人	人	人
③Clear Voice ができている。				人	人	人	人
④Response ができている。				人	人	人	人
⑤Gesture ができている。				人	人	人	人
職業を表す言葉について読みと意味が分かる児童数				性格等を表す言葉について読みと意味が分かる児童数			
artist	人	astronaut	人	tough	人	great	人
teacher	人	baseball player	人	nice	人	brave	人
soccer player	人	chef	人	famous	人	unique	人
comedian	人	designer	人	strong	人	cool	人
doctor	人	singer	人	kind	人	popular	人
actor	人	athlete	人	active	人	friendly	人
scientist	人	tennis player	人	beautiful	人		
basketball player	人	swimmer	人				

■本単元の学習に関する意識の状況（13人）

調査内容	とても	まあまあ	あまり	ない
外国語の授業が好きである。	人	人	人	人
外国語の授業で積極的に英語を使って話そうとしている。	人	人	人	人
外国語の授業が楽しいと感じるのはどんな時か。				
外国語の授業で難しいと感じるのはどんな時か。				
世界で活躍する日本人についてあなたが知っている人を書きましょう。（複数回答可）				

■考察

（資質・能力に関して）

（意識に関して）

3 指導に当たっての留意点

- 単元の導入では、教師が準備した人物当てクイズを行い、学習課題「職業や性格などを伝えて、世界で活躍する日本人について紹介し、人物当てクイズ大会をしよう」を設定することで、単元のゴールについて具体的なイメージを持たせる。人物当てクイズのために必要な語句、表現を考えさせ、活動の見通しを持たせるとともに、学習への意欲を高める（視点②）。

- 単元終末の言語活動に向けて、2回に1回程度スモールトークを設定し、既習事項について想起できるようにする。
また、ALTや英語専科とともに、一人一人が言えているかチェックし助言する機会を設け、学習内容を確実に定着できるようにする。
- 言語活動では、**Smile, Eye Contact, Clear Voice, Gesture**を意識して話すようにする。また、**Response**の具体的な言葉について練習する機会を設け、発表を聞いている児童には、反応を返すよう意識させる。
- 毎時間の振り返りを確実にいき、できるようになったことやできなかったことを自覚させ、次の時間への意欲を高める。
振り返りシートには、今日学んだ語句や表現を使って英単語や英文を書くようにし、書く力を高める（視点④）。
- 書くのが難しい児童については、児童が書きたい事を、教師が聞き取りながら四線の上に英文を書き、書いたものを提示して、書き写すことができるようにする。
- 承認、賞賛、励ましの声掛けを積極的に行い、個に応じた改善方法を示すようにする。（人権が尊重される授業づくりの視点）

4 本時の学習



(1) 目標

人の職業を紹介する言い方を知り、He is ~./She is ~.の表現を用いて、伝えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 Greeting!</p> <p>2 Question!</p> <p>3 Warm Up! 「Fun with phonics」</p> <p>4 Let's Listen!</p> <p>5 Today's Goal ◇職業や性格などが言えればクイズができそう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【めあて】人の職業を紹介する言い方を知ろう。</p> </div>	<p>○毎時間行っている曜日、天気、日付についての英語専科からの質問に答えさせる。</p> <p>○映像やリズムに合わせてテンポよく発話するよう促す。</p> <p>○児童が知っている身近な人を取り上げてクイズをする。その際、職業や性格などを使い、説明する。</p> <p>○Step2では、職業や性格などの紹介の仕方を学習する事を確認し、めあてを提示する。</p>
展開	30分	<p>6 Let's practice! ◇(英語専科の発話を繰り返す)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>actor/astronaut/athlete/artist/ teacher/designer/comedian/doctor/chef/ scientist/singer/swimmer/ baseball player/basketball player/ tennis player/soccer player など</p> </div> <p>7 Let's play! ①Crash game ◇(ゲームに取り組みながら職業の言い方に慣れ親しむ)</p> <p>②Card change game ◇(ゲームに取り組みながら職業の言い方に慣れ親しむ)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【期待される学びの姿】 カードにかかれた人物について、He is ~./She is ~.の表現を用いて友達に職業を伝えている。</p> </div>	<p>○職業の言い方について英語専科の発音を繰り返しながら練習する。</p> <p>○児童に親しみのある人物のピクチャーカードを使用し、関心を高めるとともに単元終末の言語活動をイメージできるようにする。</p> <p>○ペアで言い方を確認し、難しい単語は全体で共有して練習する。</p> <p>○様々な職業の言い方について練習してから、He is/She is を付けて言う練習へと発展させる。</p> <p>○Crash gameを行う前に、教師が発話した職業を指差すようにすることで、聞き取りの理解を確認する。</p> <p>○教師はグループを周り、正しく発音できているか確認する。発音が難しそうな児童にはモデルを示して支援する。</p> <p>○何周できたかを確認し、賞賛の声掛けを行うことで、意欲を高める。</p> <p>○友達に伝える際には、Smile, Eye Contact, Clear Voiceを意識させる。</p> <p>○揃ったカードを持ってきた際は、カードの職業を言わせることで適切に発音できているか確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【具体の評価規準】観点 【思】「話すこと(発表)」 第三者についてHe is ~, She is ~の表現を用いて、職業を伝えている。 (方法: 行動観察・振り返りシート)</p> </div> <p>【到達していない児童への手立て】 ○モデルを示しながら、活動を支援する。</p>
終末	5分	<p>8 Let's writel! ◇He is a baseball player. ◇She is an athlete.</p> <p>9 Review time</p>	<p>○本時で学んだ職業を紹介する言い方を一つ選び、He is ~./She is ~.の表現を用いて書かせる。</p> <p>○書いたら持って来るようにし、正しく書けているかを確認する。また、児童が書いた文を言わせることで適切に発音できているかについても確認する。</p> <p>○振り返りでは、職業について言えたかどうかについて4段階で自己評価し、本時の感想を書かせる。</p> <p>○活動に対する気付きを述べ、次時の活動の予告をすることで、関心を高める。</p>

【板書計画】

Greeting!	Unit5 He is famous. She is great.	
Question!	Today's goal. 人の職業を紹介する言い方を知ろう。	
Warm Up!	 He is ~.  She is ~.	sunny
Let's Listen!		
Today's Goal		
Let's practice!		
Let's play!		
Let's write!		
Review time		Wednesday

職業のピクチャーカード

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

※活動3 Warm Up!の「Fun with phonics」を再生する。

※活動4 Let's Listen!で、児童に身近な人物のクイズを出す際にスライドを提示する。



Who is this?

She is a teacher.
She can help many students.
She is very kind.



※その他 課題解決を図る情報収集計画、検証結果やパフォーマンスの記録計画など（シーンに応じて活用計画を立てる）

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

例：単元の終末では、見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む

人物当てクイズ大会で人物を当ててもらうために、世界で活躍する日本人について、職業や性格等を伝えて紹介する。